

[論文]

教育と経済発展の相互関係

王 玉 珊
(東北財経大学)
鷺 尾 紀 吉

- 〈目次〉
- はじめに
 - 1. 序説
 - 2. 経済の教育に対する作用
 - 3. 教育の経済への作用
 - 4. 中国西部地域における発展過程中的教育問題
 - 5. 結び

はじめに

教育と経済は切っても切れない密接な関係をもっている。教育と経済の相互検証は、教育と経済の関係の具体的な表現である。経済は教育に基礎作用、保証作用、促進作用を、また教育は経済に支持作用、促進作用、革新作用を起こす。経済と教育はバランス良く調和の取れた発展を実現するからこそ、本格的に経済の繁栄を促進することができる。したがって、教育の飛躍的な発展も図られる。

本論文は、経済が教育に働く作用及び教育が経済にもたらす反作用を論じ、この2つの部分の分析を通じて教育と経済の密接な関係を論証する。さらに、中国西部地域の発展段階における教育問題について論議し、「教育先行」の観点の重要性を提示する。

1. 序説

経済と教育は末長い話題である。イギリス古典経済学の代表人物アダム・スミスは、「学ぶのはお金がかかるにしても、この費用は報われるし、利益が出る。」と述べているように、経済と教育は非常に密接に関係している。

経済の発展は教育の保障が必要であるとともに、教育の発展も強い経済のバックアップが不可欠である。経済は教育の基礎と保証であり、教育は経済の資源である。経済は発展の中で教育の調整を通して支えられる一方、教育の調和も調和の取れた経済が保障される。経済の発展レベルは教育の発展を制約し、教育は経済に対して重要な反作用を起こしている¹⁾。

市場経済の改革と教育経済学の研究の深化によって、中国学者は1980年代から教育と経済成長の関係について研究を始めていた。教育経済学の研究成果は以下の内容を明らかにした。

- ①経済発展は教育発展の基礎と物質的な保証であり、教育発展は生産力の発展を促進する。
- ②教育は経済発展の知的な基礎である。
- ③教育構造と経済構造の関係は密接で、経済構造は教育構造の様子を決定する。

教育構造は、経済構造の要求にかなわなければならない。経済構造が教育構造の内容を決定する。教育構成は一般的に学校の教育構成を指し、即ち各級各種類の学校教育の構成比例関係及び結合方式であり、主に学校教育のレベル構造、例えば初等教育・中等教育・高等教育の比例関係と相互関連、学科専攻の構造、例えば大学・短大・技術学校が設置する専攻・学科の比例関係、区域レイアウト構造及び経営形式などを含める。合理的な教育構造は政治制度、文化伝統、人口構造、科学技術の影響と制約を受けるが、結局、生産力の発展レベル、つまり経済構造によって決まるものである。

2. 経済の教育に対する作用

(1) 経済は教育の基礎で、教育の発展を保障する

社会物質生産の発展は教育の発展に条件を提供すると同時に、教育に対して新しい要求を出し、教育発展を推進する根本的な社会動力である。人類社会発展の過程を総合して観察すると、生産レベルが極めて低下する原始社会は教育活動に条件を提供することができず、近代と現代の生産レベルになる社会における人のみに人生のある時期に教育を受けさせることが可能である。しかし、教育は経済発展レベルの高低により影響を受けやすい。

経済の基礎作用は、以下の3つの方面にあらわれる。すなわち、1つは経済の保障を提供する。2つは経済利益を提供する。3つは教育発展の重要を提供する。

中国国家統計局のデータによれば、2000年から2007年にかけて中国 GDP の年間成長率は9.8%となった。そのうち、2003年は一人当たりの GDP が初めて1000米ドルを突破した。2009年の成長率は9.2%に達した²⁾。今世紀の最初の20年間は依然として7.2%の成長を維持できると見込まれている。

改革開放以来、中国の経済は一貫して高度成長を維持し、国民の生活レベルも大幅に改善されて、「温飽型」から「小康型」へ移行している。経済の高度成長に伴って教育も著しい成果が遂げられた。大学の採用率は大いに上昇し、文盲の数が低下して、辺鄙な地域でも学校を開設した。貧困地域の教育活動を支援するボランティアの

1) 李星雲 (2008) 『教育経済論』安徽人民出版社、前書。

2) 中国国家統計局年鑑 <http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsjs/>。

増加につれて、現地学生の学習品質が高まり、発達地域との差が縮小した。義務教育はほぼ普及し、高等教育は大きな発展を遂げ、民営教育も迅速な進展を実現し、高等教育は少人数の特権から大衆の権利へ転化しつつある。経済投入、経済利益とも教育の生存と発展に関わり、経済はある程度教育に対して決定的な作用を發揮する³⁾。

経済発展の要求にかなうため、教育機関は数多くの技術・文化レベルが高い労働者を育成しなければならない。一方、教育事業の発展は終始一貫してその国の国力に応じるのである。経済が発展すればするほど、教育事業に提供する教育費用が多くなり、教育事業を推進するわけである。国が教育事業の発展に用いる費用は国の財力に制限されている。経済が絶えず発展すると同時に、財政収入が絶えず拡大することを実現しないと、教育経費の絶対額及び教育経費が財政支出に占める比率は年々増加することもできない。

(2) 経済は教育の保障であり、教育の発展を推進する

教育の発展のためには、資金がかかる。それらの資金は学校運営を通じてためる資金と他の収入である。政府からの教育割当金もあり、企業からの投資と寄付金である。いずれも国の経済発展のレベルと富裕には深い関係がある。数多くの事例は、経済発展のレベルの高い国が経済発展のレベルの低い国より、割当金の支出が一層多いことを裏付けている。経済発展の教育に対する保証は経費計画の保障、経費配備要求の保障、経費使用の保障の面に現れている。

もちろん、経済発展と同時に、経済階層も日増しに両極文化となってくる。特に、都市と農村住民との収入の差は年々拡大しており、経済上の両極文化もはっきりと現れ、教育上の両極文化もみられるようになった。特に大学教育である。文化資本と資金資本において、優位性を持っている人は教育を受けるチャンスもますます増え、ほとんど名門学校のよい学科で勉強する。逆に、収入が少ない人は大学教育を受けるチャンスも少ない。経済発展のレベルの相違は直接に教師の優劣、教育支出の経費額に影響している。現下の状況からみて、経済と教育における両極文化がさらに拡大するおそれがある。経済が進んでいる地域と経済が進んでいない地域あるいは都市と農村の教育現状を分析してみると、次のような啓示が

見つかる。

すなわち、経済の進んでいる地域には、全ての情報資源、教育機構、図書館、メディアなどが集められている。情報量も多いし、情報散布のスピードも速い。教育資源は大都市に集まっている。都市と農村との教育資源の分配はバランスが崩れている。これは、農村の発展が遅れている重要な原因である。したがって、地域経済の発展状況の違いによって、教育の公平性を影響している。教育の不公平は経済成長の持久力を減らし、教育を公平にさせるのは中国が直面しなければならない問題である。それゆえ、経済発展を強力で推進することを通じて、教育の不公性を減らして、経済と教育を二本立てに発展させる。

経済は社会発展の原動力である。まず、経済が進むのは経済が基礎としての役割を果たす保障である。国の教育割当金の額も高くなり、教育の発達と発展を推進する。そして、第2に、ミクロの視点からみて、経済が進んでいる時代では、経済学が分かる人材は必要である。教育機関が人材を育成する。人材に対するニーズが教育の原動力になれる。第3に、これまでの教育成果からみて、経済は教育の発展を推進し、高い学歴を手に入れるのを現実にした。第4に、経済は教育を推進すると同時に、科学技術の発展も推進している。第5に、経済は教育の発展を推進し、国民の教育水準を変え、数多くの人々の学歴、社会的地位を向上させ、個々人の収入が増えた。

こうして、国民の積極性を上げ、特に大学教育を受けた人はその例である。経済の発展は大学教育の発展の重要な基礎であり、大学教育の発展に良い物質的支援を提供し、大学教育の発展を絶えず推し進める。

経済は教育に対する基礎的作用、保障的作用、推進作用をもっている。しかし、経済は教育の発展を制約している。具体的に分析してみると、次のようである。教育のニーズへの制約、教育の発展スピードと質への制約、教師素質を上げることへの制約などがあげられる。このほか、経済は教育の不公平な競争をもたらし、教育の質を下げる。

3) 『公明日報』2010年7月10日。

3. 教育の経済への作用

(1) 教育は経済発展に人材保障と知的支援を提供する

すべての資源の中で、教育資源はもっとも重要な資源である。教育が経済発展する過程での重要性は、人という要素が経済発展の中で欠かせない地位を占めるからである。教育は人に対する育成と変化を通じて、経済発展における最大資源となる。変えられない作用と重要性はすでに社会発展の歴史に裏付けられた。

古代の時、その当時の生産水準に限られ、教育が生産発展に及ぼす促進作用はまだはっきりと現れなかった。経済発展へのプラス影響も具体的なデータで測れない。近代になり、資本主義工業の発展につれて、教育が生産技術の改革、生産発展の促進に対する影響は次第にはっきりと現れるようになってきた。今現在、国と国の間の競争の本質は人材の競争になった。すなわち、教育の競争である。

教育の発展は経済の発展と深い関係があり、経済発展との関係がより直接で、密接である。人は生産の基本的な要素の一つである。もしも、一国の労働者の素質が高くないと、現在における市場経済の発展の要求に満足できず、そうすると人的資源がいくら豊富でも、その国の経済も速いスピードで発展できない。教育は各レベルに、数多くの質の高い人材を提供することを通じて、経済発展のスピードに影響を与える。それと同時に、経済発展の品質と効果・利益に影響を及ぼす⁴⁾。

教育は、人的資本形成に対する最も重要な手段である。人的資本は国の重要な生産要素の一つである。教育投資は国民の人的資本を高めて、労働生産効率を向上させ、国民収入と経済成長を促進した。数多くの事例は教育が人的資本蓄積の主要な手段として、経済成長の過程で重要な役割を果たしていることを明らかにしている。

一方、人的資本は経済成長の定常状態値に影響を及ぼす重要な要素である。より高い教育水準及びより高い人的資本の蓄積水準はその国の定常状態の収入レベルを高めることができる。これ以外に、人的資本蓄積（あるいは教育）も次のようなルートで経済成長に影響し、経済成長を促進する。第1に、技術進歩を促進すること。第

2に、労働者が新技術を採用し、利用する能力を向上させる。第3に、新技術の促進と普及を通じて、社会収益を増大する。

教育は、経済成長には長期間の「促進」と短期間の「推進」の二重の作用をもっているといわれる。それゆえ、教育を正しく認識し、教育を真剣に推し進め、長期的な教育政策を立てなければならない。知的投資と人材育成を重視し、教育の発展を優先的な地位に置き、教育が基礎性、全局性、先導性を持っている視点を確立する。大学教育の質を向上する前に、まず基礎教育の質を高め、教育を経済発展の重要な要素にならせる⁵⁾。

(2) 教育は直接に経済の発展を促進している

良好的な教育は人類が蓄積した知識を絶えず拡充し、増やし、豊富にさせ、積極的に社会の繁栄と生産の発展を促進している。教育の発展には巨大の資金を投入し、その資金を教育の固定資産にさせる必要がある。同時に、教育活動、研究活動も多くの労働者が要る。現在、中国では教育従事者の総人数は1000万人を超え、在学中の学生総人数は2億人を超えている⁶⁾。毎年、大量の研究成果が直接に経済成果に転化し、社会財産を増加した。すなわち、教育はGDPの増大を直接的に促進しているといえる。これ以外に、教育周辺の保障産業も教育の発展に伴い、拡大する。大量の物質の投入と産出を実現する。したがって、教育はGDPの増大を間接的に促進しているということもできる。一国の経済成長につれて、教育割当金も多くなり、これに対して、教育の発展も経済の発展をよりよく促進している。

教育の発展は国民の素質を高めると同時に、経済成長も大きな促進作用を実現している。これ以外にも、関連産業の急速な増加をもたらす。よって、教育は、経済の発展と社会の進歩に対する促進作用を一層認識する必要がある。教育を発展するのは財産で、負担ではない。今日の教育資源は、明日の経済発展の強大な原動力になれる。科学・教育発展と人材育成を重視するところは経済発展のスピードが早く、良好で、安定的である。経済発展の原動力を保つため、義務教育、大学教育、職業教育、通信教育などを推し進めなければならない。それとともに、各種の教育発展により施策を行い、教育の発展を支

4) 胡樹 (2009) 「日本教育発展と経済成長の関係」『前沿』、p. 146。

5) 周春花 (2009) 「教育と経済の関係についての考え」『華東经济管理』、p. 158。

6) 中華人民共和国教育部『2009年教育統計データ』<http://www.moe.edu.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/s4958/index.html>

持し、促進する。教育が経済への作用を最大化にならせる。

(3) 教育は知識と知識創造の間の紐帯である

知識自身は価値がない。その知識を身につけた人がそれに基づいて、新しい知識を作り出してから、価値に変えられる。創造能力のある人を育成するのが労働者の創造力のカギである。創造力は労働者に対する最も重要なものである。労働者の創造力は主に新技術と新思想の提示に現れるが、いくつかの分野の技術成果を生かして、前人のさまざまな断片的な思想、まだ練れていない思想を新しい体系に取り入れて、立て直してから新労働成果を作り出し、新たな思想を提示する。

社会経済発展の遠大な戦略目標からみて、社会の労働者の創造力を向上させるのはかなり重要である。それを実現するのは教育活動に頼らなければならない。教育は専門人材の数量を増やすと同時に、専門人材の質をも高めて、技術創造の需要を満たす。教育の経済革新性に対する作用は、以下の3つの方面に現われている。①教育の経済との結合点の創新、②教育の経済に対する新成長点の創出、③今日の実践における経済発展の状況と需要に従った知識と技術構造及び人材育成の方式上の創新⁷⁾。

教育は人材育成、人材養成を通じて、経済の発展を促進している。教育の経済発展へ促進させる作用の程度は、経済発展の状況と需要の適応程度によるものである。適応程度が大きくなればなるほど、促進作用も大きくなる。逆の場合には、促進作用が小さくなる⁸⁾。教育が経済の実現条件と要求を超えると、経済への促進作用が実現できない。経済の発展を妨げ、ひいては破壊する。

4. 中国西部地域における発展過程中的教育問題

中国西部地域における人的資源の全体状況と人材素質は、中国の他の地域よりはるかに遅れている。このため、現在、中国西部大開発は肝心な時期である。歴史的な原因及び閉鎖的な地理条件のため、西部地域の科学教育事業は比較的遅れている。このような状況は西部大開発の速度と品質を制約している。既述したように、一国の経

済の急速な発展は、必ずその発達した教育事業で育成したさまざまな優秀な人材と高い素質の国民に起因するものである。経済の発展は、「人」の現代化と深い関係がある。人の素質の高低が経済ないし社会の発展を決定する。

一方、西部大開発は非常に艱苦に満ちた複雑な歴史的任務であり、責任は重大で前途は遠い。長期にわたる責任はうまずたゆまず遂行すると同時に、果敢に推し進めなければならない。西部地域は国のマクロの特恵政策の扶助に恵まれているので、外部からの援助を十分に活用すると同時に、「教育先行」の指導思想を樹立し、科学教育事業の発展速度を速め、西部地域自身の人材を育成して、他の力に頼らずに自らの力で発展する。西部大開発の過程で、人材はキーポイントであり、優秀な管理人材をもち、科学的な発展政策と措置をたてることによって、西部大開発が順調に発展することを保障する。

これ以外に、数多くの科学技術人材を募り、西部地域の経済を絶えず発展する。素質の高い労働者は以上の3つの要求に満足できれば、西部大開発が人材に対する需要を満たす。現代化は、「人」の現代化である。「人」から離れて現代化を検討すれば、現実離れた空想だけに過ぎない⁹⁾。特に、今日はすでに知識経済の時代になり、現代化を実現する視点からみて、「どの国家または地域も現代化を実現するために、まず国民の素質を高めて、民族の活力を増やす。経済発展にはたえず活力を提供する環境を作りだす」。国民の素質を高める最も重要な方法は、科学教育事業の発展を推進することにある。

過去の歴史を振り返ると、英仏米などの諸国の工業化、現代化の成功のカギは教育を非常に重視して、教育事業を発展していることである。戦後の日本の発展もそうである。それゆえ、西部地域は国の西部大開発戦略に従って、「教育先行」の指導思想を確立し、教育事業を優先的に発展する。特に基礎教育である。それから、さまざまな技術教育と大学教育を推進する。西部地域の国民の素質を向上させる目的を達成する。こうすることだけでも、西部大開発の順調の発展を根本的に促進でき、西部と東部に優劣がなく発展することを実現する。最後には、中国の現代化事業を遂げる。

7) 王麗(2009)「教育と経済の基本関係についての研究」『延辺教育学院学報』、p. 35。

8) 『人民日報』2007年7月6日。

9) 『人民日報』2007年1月12日。

5. 結び

経済の教育との相互作用は、経済と教育の関係の具体的な現れである。経済は教育の発展が保障できる。教育が広がる文化は知識経済の重要な要素になる。

経済と教育との関係は、非常に特別で微妙な関係である。教育の発展と教育の正常化は経済に基づいているのである。経済の教育事業に対する投入は、直接に教育の生存と発展の状況に影響している。教育割当金の額、時間及び投入年限なども教育の発展を制約している。経済の保障及び経済自身の発展は、教育への巨大な促進作用をもっている。

教育は社会生産経験と生活経験の必要な手段であり、経済発展に対して、必要不可欠で重要な基礎と条件である。教育は知識を通じて、経済の発展を直接に促進しており、研究成果及び研究成果の転化が経済をも通じて経

済の発展を促進している。

経済の教育との関係は相互に促進しているのである。経済は「経済－知識技術－教育」の形式を通じて、教育を経済に適応させ、教育の調和を遂げる。教育は知識を通じて知識経済を作り出し、それを経済成長の持続的な要素にさせる¹⁰⁾。

教育は発展の手段だけではなく、発展の基本内容と目標となった。教育を受けるのは単に生計を立てる手立てだけではなく、社会の調和的な発展を遂げるので、個人能力を十分に発揮するのである。経済と教育はそれぞれのルートに従って、自身固有のロジックにより、各自の理念とその理念の進展変化を詳説しており、違う発展規律を現わし、道は異なるが、最後の結果は同じになる。すなわち、人と自然の調和発展を遂げるのである。経済と教育が調和的、均衡的な発展を遂げてこそ、経済の繁栄を促進して、教育を飛躍的に発展する。

10) 劉志民(2007)『教育経済論』北京人民出版社、p. 114。